

# 長門市大規模災害対応訓練

〈ねらい〉

日本海で発生する大規模地震・津波を想定した避難訓練や地震・津波の発生メカニズムの学習、備蓄食の試食等避難生活の体験を通して、災害に対する正しい知識や的確な判断力・行動力を育成し、併せて、災害に対する備えの重要性の理解促進を図る。



## 実施内容

- 1 実施日時：平成26年10月6日（月）
- 2 実施場所：三隅公民館・三隅中学校
- 3 参加者：三隅保育園園児85人、明倫・浅田小学校児童256人、三隅中学校生徒139人、教職員57人、三隅地区住民8人、三隅支所職員4人、長門市消防署職員2人、防災危機管理課職員2人、長門市教育委員会1人、山口県教育委員会1人
- 4 プログラム

9:30	10:00	10:10	13:45	15:15	15:50
避難訓練	講評	通常授業	<b>【研修Ⅰ】</b> ○地震・津波発生のメカニズムを学ぶ ①実験・観察 ②講話・緊急地震速報訓練等	<b>【研修Ⅱ】</b> ○備蓄食の試食 ・アルファ化米 ・カンパン、ビスケット ・保存水（5年）	

## 5 活動の様子

### 《避難訓練》

三隅公民館からFAXによる避難指示（避難経路を示した図入り）を受けて、三隅保育園園児、明倫小学校児童・三隅中学校の生徒は、各学校・園の運動場へ一次避難した後に、三隅ふれあいパークへ二次避難をしました。また、浅田小学校児童は、体育館へ一次避難した後に、体育館の2階ギャラリーへ二次避難をしました。



〔運動場へ一次避難〕



〔三隅ふれあいパークへ二次避難〕



〔園・学校ごとに点呼〕

### 《防災授業》

下関地方気象台の職員から、地震・津波の発生メカニズムと対応について詳しく学びました。

#### I：実験・観察



〔地震発生の仕組み〕



〔風による波と津波の威力の比較〕



〔地面の液状化現象〕

## II：講話・緊急地震速報訓練 等



〔津波の速さと高さ〕



〔地震の被害状況〕



〔緊急地震速報を使った訓練〕

### 《試食》

アルファ化米（４種類）とカンパンに加えて、市から提供してもらったビスケットと保存水を試食しました。どの保存食も大変おいしくいただきました。



〔試食〕



〔試食〕



〔保存食〕

### 感想

- ・避難するときに大切だと思ったことは非常食です。私の家は、非常食を置いていないので、日頃から置いておきたいと思いました。非常食は、５年間も食べることができるのでとてもびっくりしました。（小学生）
- ・今回の学習を終えて、「避難するときに大切なこと」は、やはり油断しないことだと思います。まだ、大丈夫と油断していると津波がきてしまうかもしれないからです。（小学生）
- ・校庭で地震が起きた時には、たおれそうなものからすぐにはなれて、頭を守ることが大切であることを学びました。また、地震は、底にあったものが、ゆれが強いと浮き出てくるということも初めて知ることができました。（小学生）
- ・今日の避難は学校からだったので、どこに避難すればいいのかが分かっていたけど、もし家にいた場合、どこへ避難すればいいのかが知っていないといけないと思いました。（中学生）
- ・津波のレプリカ実験で、風による波と津波の波とでは、波の長さが違うことが分かったし、50センチの津波でも大人を流す力があることが特に印象に残った。（中学生）
- ・非常食はおいしくないというイメージが強かったけど、とてもおいしくて驚きました。一番おいしかったのは、アルファ米のとりそばです。あとは、カンパンです。（中学生）
- ・避難するときに大切なことは、自分の身はもちろん自分で守るのですが、自分より小さい幼い子や、お年寄りの方にも目を配ることだと感じました。（中学生）

### 自己評価

5：とてもよくあてはまる      4：ややあてはまる      3：どちらともいえない  
2：あまりあてはまらない      1：まったくあてはまらない      アンケート回収人数（84名）

番号	内 容	5	4	3	2	1
1	避難（ひなん）方法・避難する時に大切なことがわかった。	78	6	0	0	0
2	地震（じしん）や津波（つなみ）が起こるしくみがわかった。	67	17	0	0	0
3	備蓄食（びちくしょく）について知ることができた。	76	6	2	0	0
4	自分から積極的（せっきょくてき）に学習した。	49	25	10	0	0
5	今回の学習内容をこれからの生活に役だてようと思った。	78	5	1	0	0

※ 長門市大規模災害対応訓練は、8/8（金）～8/9（土）の1泊2日を予定していましたが、台風11号の接近のため10/6（月）に実施しました。